第3学年　国語科学習指導案

日　時　7月１１日（金）５校時

対　象　３年２組　３２名

指導者　髙橋　憲子

１　単元名　「詩を味わおう」

　　教材名　「わたしと小鳥とすずと」金子みすゞ

「夕日がせなかをおしてくる」阪田寛夫（光村図書　三年上）

２　テーマ　役割演技をしながら具体的に想像しようとする学びっぷり

３　本時の授業

1. 目標

　第１連と第２連を比べて読むことを通して，共通点や違い，連同士の関係に気付き，役割演技をしたり考えたことを話し合ったりしながら場面を具体的に想像することができる。

|  |  |
| --- | --- |
| 学習活動 | ・教師の働きかけ　◎評価　☆支援 |
| １　前時の学習内容を確認する。  ２　「夕日がせなかをおしてくる」を読む。  ・早く帰ってということかな。  ・2連の詩だ。  ３　本時のめあてを確認する。  連と連をくらべながら，場面を想像しよう。  ４　詩を何度も読みながら，同じところを見つけて文に赤線を引いたり，囲んだりする。  ・同じ言葉がいくつかある。  ・文の数が同じ。・リズムが同じ（七五調）。  ・字が一段下がっているところがある。  ５　違うところを見つけ，青線を引く。  ・２，３，４行目　・「きみたち」と「太陽」  ・第１連は太陽がぼくらに言っていて，第2連はぼくらが太陽に言っている。  ６　互いに呼び掛け合う場面を役割演技する。  ・明日は校外学習だから早く帰ってという場面にしよう。  ・太陽の「あしたの朝ねすごすな」は，「遅刻しないでおいでよ。」という気持ちで言いました。  ・ぼくらの「あしたの朝ねすごすな」は，「明日晴れにしてね。」という気持ちで言いました。  ・大きい声で言っているけど，どちらも優しい気持ちで言っているのが伝わりました。  ・はじめ太陽はぼくらの後ろにいるけど，その後はぼくらと太陽は向かい合っている。  ・「どなる」って怒っているのかな。  ７　想像したことをワークシートに書き，音読　に生かす。  ８　まとめ・振り返りをする。  例：わたしは校外学習の前の日を想像しました。○○さんの意見を聞いて，太陽とぼくらがどちらも優しい気持ちで「さよなら」と言っていると思いました。 | ・「わたしと小鳥とすずと」の連と連を比べて読み，想像したことを振り返る。  ・題名から夕日がせなかを押してくるとは，どういうことなのか考えさせる。  ・連の数を確かめ，連と連を比べながら読むことを確認する。  ・言葉に着目させながら，第1連と第2連の形式が似ていることにも気付かせていく。  ・児童の気付きから表現の工夫にも触れていく。  ・違う言葉から，連ごとに誰が誰に「さよなら」と言っているのかを確認し，各連の後半から語り手が変わり，互いに呼び掛け合っている情景に気付かせる。  ・なぜ，夕日がせなかを押してくるのかを想像させ，その中の一つを取り上げ，はじめは教師が太陽役になり役割演技をする。その後，児童同士の役割演技に移行していく。  ・演技者だけでなく，見ている児童に感想や意見を聞くことで，それぞれの想像を広げたり，それぞれの想像の違いに気付かせたりする。  ・役割演技をする中で，人数や立ち位置，声の大きさなど，詩の言葉にも着目させていく。  ☆想像したことをワークシートに書かせるが，自分でうまく想像できない児童には，友達の考えを聞いて書いてもよいこととする。  ◎場面を具体的に想像することができている。  【思・判・表】役割演技，発言，ワークシート  ・振り返りをもってまとめとする。 |

1. 展開　２／３